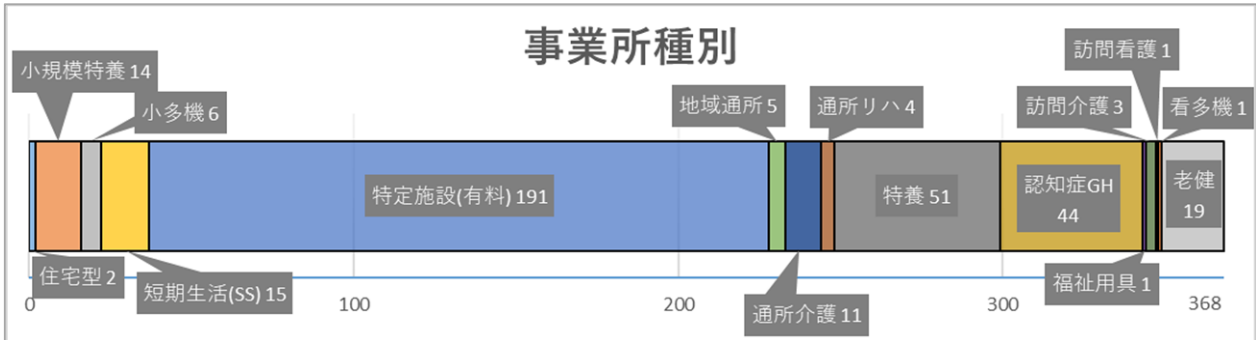


介護保険施設・事業所における事故報告について 中間報告(令和5年1月～10月)

資料19

令和5年1月から10月までに市へ報告のあった事故の件数は368件でした。
 事故内容としては、転倒による骨折及び外傷が一番多く、次に多い事故が誤薬・落薬・与薬もれです。他人の薬と取り違えて服薬すると最悪の場合、死亡事故に至るおそれがあります。必ず飲む前の利用者の名前の確認や飲む薬の種類と数の確認を怠らない等、適切な服薬介助をお願いします。
 これらの事故に対する適切な再発防止策を都度ご検討いただき、事故の未然防止や再発防止に努めていただくとともに、万が一発生してしまった事故につきましては、早急に介護保険課計画・指導係までご報告いただきますようお願いいたします。

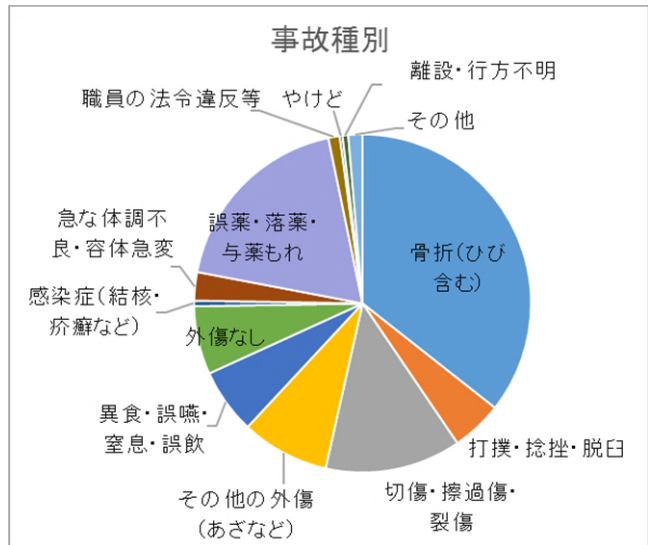
1. 事業所種別



2. 事故種別

事故内容	件数	構成比
骨折(ひび含む)	131	35.6%
打撲・捻挫・脱臼	18	4.9%
切傷・擦過傷・裂傷	48	13.0%
その他の外傷(あざなど)	31	8.4%
異食・誤嚥・窒息・誤飲	23	6.3%
外傷なし	24	6.5%
感染症(結核・疥癬など)	2	0.5%
急な体調不良・容体急変	10	2.7%
誤薬・落薬・与薬もれ	69	18.8%
職員の法令違反等	4	1.1%
やけど	1	0.3%
離設・行方不明	2	0.5%
その他	5	1.4%
合計	368	100%

(構成比は端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません)



3. 事故原因

事故の原因	件数	構成比
転倒・転落など	207	56.3%
不注意	83	22.6%
病気など	4	1.1%
虐待など	4	1.1%
車両事故	3	0.8%
トラブル	1	0.3%
不明	30	8.2%
その他	36	9.8%
合計	368	100%

(構成比は端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません)

- ※「不注意」は、誤薬等の職員の不注意による事故が多い。
- ※「不明」は、転倒等の記録がなく、どこで受傷したのか特定できなかった場合等を含む。
- ※「その他」は、異食や徘徊によるもの等を含む。

